



すこやか
小国っ子
シリーズ⑮

～よ～し 捕まえるぞ!～

白い森交流センター「りふれ」周辺で行われた魚のつかみどり大会。

時折、雨が降る空模様になりましたが、子どもたちは水しぶきをあげながら元気いっぱい、逃げるイワナを追いかけていました。

新小国町五十年の移り変わり

昭和二十九年三月三十一日、旧小国町、北小国村、南小国村の一町二村が合併した後、昭和三十五年八月一日、津川村との合併により、現在の新しい小国町の姿になり、五十周年を迎えました。

今月は、合併後の出来事などから五十年の「町の移り変わり」を振り返ります。



昭和35年津川村との合併に沸く中央通り

町づくりの変遷

旧小国町と津川村が合併した同年、新しい小国町のまちづくりの指針として「新町建設計画」が策定されました。この計画は、旧四町村の合併によって強化された経済力と行財政力で産業基盤の整備を進め、より豊かで明るい住民生活の実現を目指したものです。新小国町の基礎を固める最初の計画でした。

その後、相次いだ災害、過疎化の進行を乗り越えながら、明らかになった地域課題を住民とともに解決するためのまちづくりとして、中核施設とそれを結ぶ拠点の生活環境の整備、働く場の確保や所得の向上に向けた経済環境の整備、さらに地域が持つ特性を生かした産業の創出など、独自の町づくりを展開してきました。

昭和五十四年には、所得確保対策、克雪対策、医療の確保、生活環境施設の整

備など、本町固有の課題を整理した「小国町総合計画」を策定、昭和六十二年には、「新小国町総合計画」を策定し、継続的發展を目指してきました。

平成二年、本町のすぐれた自然環境と地域資源を評価し、大切にしながら町全体を、自然と人間の共存のあり方を体験的・保養的に学習できる多彩な生活空間として形成し、交流と定住を促進していく「白い森構想」を立ち上げ、二十一世紀を展望する新たなまちづくりの手法に取り組んできました。

そして今、これまでの新しい小国町のあゆみを踏まえながら、町民の主体的な力と多様な「協働と連携と交流」による力の結集に心を傾け、小国の人々の幸せな生活を紡いでいくものです。

町のあゆみ

【昭和35年～】

昭和35年

- ・津川村と合併し現在の小国町となる
- ・「新町建設計画」策定

昭和36年

- ・沖庭小学校完成

昭和37年

- ・町章制定
- ・飯綱橋完成

昭和38年

- ・38豪雪

【昭和40年～】

昭和41年

- ・「生活圏整備構想」樹立
- ・小国町史発行

昭和42年

- ・羽越水害
- ・宇津トンネル完成

昭和43年

- ・越戸集落移転
- ・おぐに開発総合センター完成

昭和44年

- ・横根トンネル完成
- ・町民プール完成

昭和45年

- ・滝集落移転
- ・「産業圏整備構想」樹立

昭和46年

- ・町立病院完成

昭和47年

- ・米坂線がSLから全面気動車になる
- ・北部小学校統合校舎完成
- ・町民の木に「ブナ」を制定

昭和48年

- ・記録的な干ばつ（30度以上38日）
- ・「自然教育圏整備構想」樹立

昭和49年

- ・昭和38年を上回る豪雪
- ・「熊まつり」初公開
- ・広域消防小国分署業務開始

【昭和50年～】

昭和50年

- ・叶水基幹集落センター完成



昭和62年当時の旧宇津トンネルの様子



昭和42年改良前の宇津峠の様子

交通基盤の変遷

国道113号旧宇津トンネルは、昭和三十八年の十一月から工事が始まり、昭和四十二年に開通。峠越え六・五キロの道のりは二・四キロと約三分の一に短縮されることになりました。その後、羽越水害をきっかけに、改良工事が実施されることとなり、八年の歳月と総事業費一六二億四、七〇〇万円が投じられ、昭和五十年十一月、国道113号の新潟県荒川町と南陽市とを結ぶ七九・二キロメートル区間が完成しました。この事業の完成によって、冬期間でも町外との道路交通が可能となるなど、ヒト、モノ、経済、情報、文化などの多面的な交流が促進されました。

このことに伴い、昭和五十三年飯豊梅花皮荘がオープンするなど、町内外の交流が活発となり町内における新たな産業が創出されるなどの大きな効果を及ぼしました。その後、交通事情の変化等により、さらに改良事業が進められることとなり、昭和六十二年度から平成四年度まで六年間の歳月をかけて、新宇津トンネルが完成しました。これにより、冬期間の交通障害が大きく改善されるとともに、安全性も高まり、交通環境はさらに向上しました。現在、さらなる交通環境の充実に努めることから、「新潟山形南部連絡道路」の開通を目指し、運動を展開しています。



現在の除雪の様子(小坂町地内)



昭和38年、積雪4メートル45センチ(国鉄小国保線区)を記録した38豪雪

除雪体制の変遷

小国町は、典型的な日本海側気候の影響を受け、夏は雨が多く、冬には全国有数の豪雪地帯となります。

昭和三十八年一月に本町を襲った豪雪(三三八豪雪)は、当時冬季における唯一の交通機関であった国鉄米坂線を十日間に渡って不通にさせるなど、町を「陸の孤島」に至らしめ、日常生活や産業活動に大きな影響を及ぼしました。また、昭和四十九年には、三八豪雪を越える積雪を観測し、沼沢駅での積雪は五メートル九〇センチにもおよびました。

小国町で道路除雪を行ったのは、昭和三十四年、ブルドーザー一台によって舟渡までのバス路線を除雪したのが始まりです。

その後、昭和五十年四月一日、国道113号が国直轄管理区間となったことから、小国と沼沢に基地が設けられ、国道全線において、除雪が実施され、昼夜を問わず除雪車が出動し、冬季でも二車線が確保されてきました。また、昭和五十三年頃から段階的に、町道の除雪体制が整えられました。

現在は、冬季間における生活路線の交通が確保され、交通基盤の改良とあわせて、町民の日常生活の領域に大きな広がりが見られるようになりました。

町では、今後も引き続き、住民生活の安全、安心を確保していくため、効果的、効率的な除雪体制の確立に努めていきます。

- ・ 国道113号改良工事完成
- ・ 上水道工事完成

昭和52年

- ・ 小国中学校完成

昭和53年

- ・ 国民宿舎飯豊梅花皮荘オープン
- ・ 叶水小中学校完成

昭和54年

- ・ おぐに保育園完成
- ・ 健康の森「横根」オープン
- ・ 町民総合体育館完成
- ・ 「小国町総合計画」策定

昭和55年

- ・ 足中克雪センター完成
- ・ 白沼小中学校完成

昭和56年

- ・ インドネシアとの子ども相互交流開始
- ・ 町民の花に「オオヤマザクラ」、町民の鳥に「うぐいす」を制定

昭和57年

- ・ 熊まつり再公開
- ・ 飯豊山荘全面改築完成

昭和58年

- ・ 東部地区振興協議会が全国農林水産祭で天皇杯受賞

昭和59年

- ・ 玉川高齢者コミュニティセンター完成
- ・ 特別養護老人ホーム「さいわい荘」開所

【昭和60年～】

昭和60年

- ・ 小玉川小中学校完成
- ・ 健康・体力づくりで内閣総理大臣賞受賞

昭和61年

- ・ 役場新庁舎完成
- ・ おぐに大橋完成
- ・ 古田歌舞伎が28年ぶりに復活

昭和62年

- ・ 美しい都市づくりで建設大臣賞を受賞
- ・ 「新小国町総合計画」策定

昭和63年

- ・ 老人福祉センター完成

【平成元年～】

平成元年

- ・ 地域産業館「あいあい」オープン
- ・ 玉川小中学校完成

- ・おぐにコイズミワ彫刻展開催
- 平成2年
 - ・町民野球場オープン
 - ・第1回石楠花まつり開催
 - ・温泉健康館「ゆ〜ゆ」オープン
 - ・「ぶな文化交流圏構想」樹立
- 平成3年
 - ・町営バス運行開始
 - ・伊佐領小学校完成
- 平成4年
 - ・町制施行50周年(小国本村が町制を施行)
 - ・おぐに白い郷土の森設定調印
 - ・第47回国民体育大会秋季大会山岳競技開催
 - ・町民憲章制定
- 平成5年
 - ・デイサービスセンター完成
 - ・住民参加の町づくり部門で自治大臣賞を受賞
 - ・白い森交流センター「りふれ」オープン
- 平成6年
 - ・国道113号新宇津トンネル開通
 - ・中央総合レクリエーション基地総合竣工式開催
- 平成7年
 - ・白い森オートキャンプ場オープン
 - ・第1回小国国際文化フェスティバル開催
 - ・金目そばの館オープン
- 平成8年
 - ・あさひ保育園完成
 - ・五味沢地区「雪の学校」開催
 - ・荒川流路工完成
- 平成9年
 - ・白い森ショッピングセンター「アスモ」オープン
 - ・「第三次小国町総合計画基本構想」策定

【平成10年〜】

- 平成10年
 - ・道の駅白い森おぐに「ぶな茶屋」オープン
 - ・山形県から町立小国中学校と県立小国高等学校が中高一貫教育実践協力校に指定
- 平成11年
 - ・健康管理センター、小国町立病院オープン



洪水調節、工業用水、水力発電などの役割を担う横川ダム



昭和42年、日雨量532ミリを記録した羽越水害(飯綱神社から小芦方面を臨む)

治水・利水の変遷

昭和四十二年八月二十八日から二十九日にかけて日雨量五三二ミリを記録した羽越水害。町内の全河川が氾濫したのをはじめ、各所で土砂崩れが続出し、家屋の流失・浸水、農地の流失・決壊、それに交通、通信施設が破壊されるなど甚大な被害をもたらしました。

この羽越水害を契機に、国や県の機関が水害から私たちの生活を守るため、横川ダムの建設や砂防堰堤の設置、河川の護岸改修など、それぞれの分野で治水事業を展開してきました。治水事業のなかでも、町で最も大きな国家プロジェクトとなった横川ダムは、多くの地域住民からの協力により、事業

開始から二十一年の歳月を経て、平成二十年に完成。洪水調節はもとより、工業用水や水力発電の供給などの役割を持つ多目的ダムとして、渇水期には流量調整を行い、飲料水や農業用水、工業用水等、地域で使われる水を確保する役割を担っています。加えて、川が本来持っている美しい景観やきれいな水を保ち、川に暮らす動植物を守るなど、河川環境を保全する機能も併せ持っています。

また、横川ダムの建設に合わせて整備された地域とダムの情報空間「きてくる館」や「白い森おぐに湖」は、今後、地域の新たな資源としての活用が期待されています。

新たな地域づくりの活動拠点として建設された水源の郷交流館



昭和43年地域開発の拠点として建設されたおぐに開発総合センター

地域づくりの変遷

昭和四十一年に策定された「生活圏整備構想」では、生活空間ごとにゾーニングを行い、基礎集落に拠点を設定し、集落の整備を行ってきました。その核となる施設が、おぐに開発総合センターです。総合センターには、図書館・託児所・診療所・宿泊研修施設の機能盛り込まれ、当時の経済企画庁単独モデル第一号に採択。昭和四十三年十一月に完成しました。また、基礎集落の拠点として、昭和五十年に叶水基幹集落センターが、昭和五十九年に玉川高齢者コミュニティセンターが建設されました。

平成十七年叶水地区に整備された「水源の郷交流館」は、地域コミュニティ醸成の場や、地域の魅力の発信基地としての機能を兼ね備えており、新たな交流を生み出す拠点となっています。

今後、こうした拠点から、地域の歴史、伝統文化、恵まれた自然環境などを素材に、地域資源に付加価値を加え、その活用に応がみられることも期待されます。

- ・公共下水道供用開始
- ・町内循環バス運行開始
- 平成12年
 - ・介護老人保健施設「温身の郷」オープン
- 平成13年
 - ・玉川スーパー暗渠砂防堰堤完成
 - ・文部科学省から県立小国高等学校と町内小・中学校が小中高一貫教育研究開発学校に指定
- 平成14年
 - ・白い森の国21世紀フォーラム開催
 - ・あけぼの高齢者住宅完成
- 平成15年
 - ・横川ダム本体工事着工
 - ・第18回国民文化祭やまがた2003「白い森ワークショップフェスティバル」開催
- 平成16年
 - ・新町50周年（旧小国町、北小国村、南小国村の合併）
 - ・7.17豪雨災害
 - ・町道横川ダム湖岸線開通
- 平成17年
 - ・マタギの郷交流館、水源の郷交流館オープン
- 平成19年
 - ・森林セラピー基地 ブナの森「温身平」オープン
- 【平成20年～】
- 平成20年
 - ・横川ダム完成
 - ・きてくろ館オープン
 - ・木質チップボイラー施設完成
 - ・「第四次小国町総合計画基本構想」策定
- 平成21年
 - ・「第四次小国町総合計画（前期計画）」策定
- 平成22年
 - ・新小国町誕生50周年（旧小国町、津川村の合併）

新小国町誕生50周年記念事業を実施します

今から50年前、旧小国町と津川村が合併し、現在の小国町の姿になりました。町では、この節目を記念して、8月1日から20日までの間、町民の皆さんが、ふるさとへの想いをはせながら、交流し、ふれあい、楽しめるよう、「白い森ふるさと絵画展」を開催いたします。どうぞお気軽にお越しください。

8/1～8/20 白い森ふるさと絵画展 ～役場まるっとギャラリー～

「白い森ふるさと絵画展～役場まるっとギャラリー～」では、小国町役場を会場に、画家渡部利之氏（小国町沢中地区出身）の絵画展のほか、町が所有している絵画などの展示を行います。



渡部利之氏作
「ふるさと」

- **展示期間** 8月1日(日)～20日(金)
月～木 10:30～17:00
金～日 10:30～18:00
※1日は14:30にオープンします
※13日は17:00までです
- **会場** 小国町役場4階 特設会場
- **問合せ先** 総務企画課行政管理室 (☎62-2112) へ



役場4階には、
画家柏倉清助氏
の作品を展示

新小国町誕生五十周年を迎えて

小国町長 小野 精一



昭和二十九年に一町二カ村が合併した後、昭和三十年八月一日、旧小国町と津川村が合併して、現在の小国町の姿が誕生して五十周年を迎えました。文字通り小国郷が一つとなり、絆を深め、一体的な力により発展してきた半世紀であります。

昭和三十五年、新しい姿となった小国町は、旧四町村の合併を契機に、より豊かで明るい住民生活の実現を目指した最初の町づくり計画である「新町建設計画」が策定されました。現在の小国町の礎となるものであります。

その後、本町は、「三八豪雪」や「羽越水害」など災害に相次いで見舞われてきましたが、逆境をバネとして独自のまちづくりを意欲的に展開してきました。昭和四十三年に完成した二十一世紀への築城と評されました「おぐに開発総合センター」を核とした「拠点開発構想」や、町全体を自然と人との共存のあり方を学習できる多彩な生活空間の形成していく「白い森構想」は、二十一世紀を展望した新たなまちづくりの成果であります。

私は、先人が困難を克服しながら、まちづくりに取り組んできた果敢な行動に学び、引き継がれてきた豊かな自然と、誇るべき人々の営みを礎にして、さらに新しい価値と文化を創造するとともに、人と自然にやさしい暮らしがある、次代に向かつて前進する「白い森の国」を築いてまいります。

ナラ枯れ跡地を豊かな森に

「ナラ枯れ跡地再生事業」

町では本年度、ナラ枯れ被害林の再生に向けて、「ナラ枯れ跡地再生事業」に取り組んでいます。

この事業は、町が主体となり、県森林研究研修センターの指導を受け、置賜森林管理署、置賜総合支庁、新潟大学の協力を得て、取り組んでいるもので、ナラ枯れで被害にあった広葉樹の幼令木を植栽し、植物や生物を育む豊かな森林を再生することを目的としています。



幼令木を採取



仮植用ポットに入れ保管

本年度初回の再生事業が、七月十二日、町内玉川地内の町有林で実施され、苗木の採取がおこなわれました。作業には新潟大学の学生も加わり、高さ約五十七センチほどに成長した広葉樹の幼令木を採取。仮植用ポットに移す作業を実施しました。

今回採集した幼令木計四百二十五本は、秋まで現地で保管され、その後、玉川地内のナラ枯れ被害跡地に植栽する予定としています。

第22回参議院議員通常選挙 結果

～ 小国町の投票率は
75.53%(県選挙区) ～

第22回参議院議員通常選挙の投開票が、7月11日に行われました。

今回の投票率(県選挙区)は、75.53%で、82.17%だった前回(第21回)と比べ6.64ポイントの減でした。小国町における各候補者並びに政党ごとの得票結果は、次のとおりでした。

【山形県選出議員選挙】

当日有権者数	7,560人
川野ひろあき	606票
太田としお	232票
岸 宏一	2,407票
梅津ようせい	2,342票

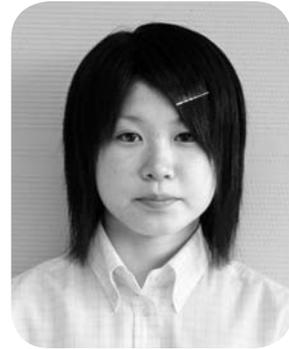
【比例代表選出議員選挙】

当日有権者数	7,560人
幸福実現党	2 票
みんなの党	604.4票
民主党	1819.2票
女性党	63 票
自由民主党	1554.1票
新党改革	53 票
社会民主党	191 票
たちあがれ日本	54 票
日本創新党	368 票
国民新党	130.2票
公明党	417 票
日本共産党	159.1票

(各政党等の得票数には、名簿登載者の得票数を含む)

清野晴香さん(采沢中央高三年)

剣道 インターハイ出場



沖縄県で開催される平成二十二年全国高等学校総

合体育大会剣道競技に、米沢中央高三年の清野晴香さん(小国中出身)が出場します。

清野さんは、六月に行われた県高校総体で第二位に入賞し、インターハイ出場の切符を手にしました。「今回、初めてのインターハイ出場です。自分の力を出し切り、上位入賞目指して頑張ります」と、力強く抱負を話してくれました。

小椋瑛里さん(南陽高三年) ライフル射撃 全国大会出場



広島県で開催される平成二十二年全国高等学校ライフル射撃選手権大会に、南陽高校三年の小椋瑛里さ

ん(小国中出身)が出場します。

小椋さんは、六月に行われた県高校総体で第三位の成績を収め、全国大会出場の切符を手にしました。「去年はビームライフル競技で全国大会に出場しましたが、今回はエアライフル競技での出場となりました。ひとつでも上を目指し、入賞できるように頑張ります」と、大会への意気込みを話してくれました。



岩井沢川(あけぼの地区)での清掃活動

地域住民が協力しあって 河川を清掃

平成二十二年の河川清掃が、七月四日、町内十三カ所で実施されました。

当日は、早朝から、地区ごとに地域住民が集合。互いに協力し合いながら、川辺に生い茂った草の刈り払いや、ゴミ拾いなどに汗を流していました。清掃された河川は、きれいな景観を取り戻していました。

緑のふるさと 協力隊便り②

小国の言葉

栗本 美紀

小国町に来て早三ヶ月。

この方言もようやく分かるようになってきました。

こちらに来て、すごいいなと思った言葉が、「ありがとさま」と「おはようさま」。私の地元、大阪では、「ありがとさん」、「おはようさん」と言います。

何となく似ていて温かいなあと思いました。

山形と大阪、遠いようでどこか繋がっているのかな。と、感じた言葉でした。

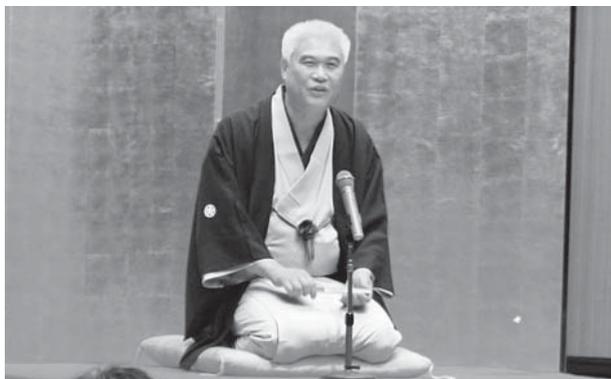
小国の言葉、方言はとて、も柔らかくてかわいらしく、聞いていてとてもあたたかい響きがあると思います。そんな小国弁が大好きです!



7/17

会場は笑いの渦

～たなばた寄席～



山遊亭金太郎師匠

小国町出身の落語家山遊亭金太郎師匠の後援会が主催する「たなばた寄席」が、7月17日、総合センターで開催されました。

寄席には約80人の町民が訪れ、金太郎師匠の絶妙な話芸に、会場は大きな笑いに包まれていました。

また前座では、金太郎師匠から落語を教わっている町内の子どもたちが小話を披露。堂々とした語り口に、会場からは盛んに拍手が送られていました。

7/19

交流を深めながら汗を流す

～第16回ニュースポーツ大会～

第16回小国町ニュースポーツ大会が、7月19日、町民体育館を主会場に開催されました。

この大会では、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、ゲートボール、ペタンクの4種目が設定され、町内の地区体育協会による対抗戦が行われました。大会には小学生から年配のかたまで、幅広い年齢層の町民総勢350人が参加し、互いに交流を深めながら、汗を流しました。

4種目の総合得点により、優勝は北部地区、準優勝に白沼地区、第3位に東南部地区が入賞しました。



町民広場で行われたペタンクの様子

7/23

ワッショイ！ワッショイ！～子育て地蔵例大祭～



元気いっぱいみこしを引く子どもたち

子育て地蔵例大祭が、7月23日、清水町通りで行われ、大勢の子どもたちが参加しました。

子育て地蔵尊は町中心部の清水町通りの一角に湧き出る清水の脇にあり、古くから地域の人々が子どもの健やかな成長を願い、信仰し続けてきた子育ての神様です。

夏らしい暑さの中、参加した子どもたちは、「ワッショイ！ワッショイ！」という元気な掛け声とともに、お菓子で作った「みこし」を引いて、清水町通りを練り歩きました。

7/17

地域を掘り起こそう！

～第7回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊～



敷石掘りには子どもたちも参加



郷土食が振る舞われた昼食会場

「第7回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊」が、7月17日、玉川コミュニティセンターを主会場に行われ、町内外から26人が参加しました。

これは、玉川地域振興協議会、NPOここ掘れ和ん話ん探検隊などで構成する実行委員会が主催したものです。130年前まで使用されていた越後米沢街道。そのひとつである萱野峠（玉川～足野水全長約2,700m）には、いまだ多くの敷石が埋もれているとされ、実行委員会では、4年前から年2回の掘り起こしイベントを通じ、その復元作業に取り組んでいます。

作業終了後には、地元のお母さん方による、山菜やキノコなどを使った郷土料理が振る舞われたほか、木工クラフト体験や森林セラピー基地のトレッキングも行われました。

実行委員会では、この活動を通じて地域資源を活用した「協働と交流と連携」による地域づくりを行っているものです。

この人に聞く

第七回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊

実行委員長 横山留夫さん

(玉川)



第七回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊実行委員長の横山留夫さんにお話を伺いました。

「現在の萱野峠には、百三十年前とルートが異なっている箇所がありますので、ルートの真下を掘ってみても敷石が出てこない場合もあります。そうした難しさがあるからこそ、敷石を掘り起こしたときの感動が大きいのではないのでしょうか。」

また、地元のお母さん方が作る「このイベントならではの味覚」も参加者から好評をいただいています。

古の道に想いをはせながらの敷石掘り、地元のお母さん方の手料理など、このイベントに魅力を感じ、毎回のように参加してくれるかたも増えていきます。みなさんの協力をいただきながら、玉川地域の活性化につなげていきたいと思っています」と話してくれました。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

■町営住宅あけぼの団地
(高齢世帯向け)

2DK 1戸

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

小坂町勤労者住宅

2K 4戸

▽家賃 三万三千元

岩井沢勤労者住宅

3DK 3戸

▽家賃 四万二千元

▽対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3ヶ月分

■募集期限 8月9日(月)

■入居時期 8月下旬以降

■問合せ 地域整備課建設管理室へ

平成23年度西置賜

行政組合職員募集

募集内容

養護老人ホーム職員 1名
消防職 7名程度

■受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた高卒以上の学歴を有するかた。

※消防職は前記のほか、長井市、小国町、白鷹町、飯豊町の居住者または当該地域に居住予定のかた

受付期間

8月23日(月)～9月14日(火)
午前8時30分～午後5時
(土日を除く)

※受付最終日の日時必着

受付場所

西置賜行政組合事務局

試験日・場所

10月17日(日)

長井市勤労センター

■受験申込方法 所定の申込書を提出してください。

■申込先 西置賜行政組合事務局(長井市平山四四六〇)

消防本部庁舎内 ☎88-4336)へ

ご案内

フラ(フラダンス)教室

「カ・フラ・オ・ケアラ」

見学のご案内

本場ハワイのフラダンスに興味のあるかたは、ぜひ見学

にいらしてください。

■日時 8月27日(金)
午後6時から午後7時

場所

総合センター 交流室

■問合せ 「カ・フラ・オ・ケアラ」事務局(☎090-6250-0178)へ

催し

さいわい荘盆踊り大会

■日時 8月10日(火)

子どもの部 午後7時～
大人の部 午後7時30分～

■場所 さいわい荘

■その他 室内で開催しますので、内履きを持参してください。

■問合せ さいわい荘(☎62-3821)へ

大相撲東関部屋「小国合宿」

稽古日時

8月15日(日)～20日(金)

午前7時～午前10時

※自由に見学できますので、ご声援をお願いいたします。

■宿舎 アスネット

■稽古場 コバレントマテリ

アル(株)小国事業所の相撲場

問合せ

東関部屋小国後援会 都築 廣男(☎62-3278)

アメリカ駆除のお願い

アメリカシロ(アメリカシロヒトリ)は、6月中旬から7月下旬(第1化期)にかけてと、8月中旬から9月下旬(第2化期)にかけての年2回発生します。

アメリカシロは主に桜・くるみ・もみじ・梅・桑・柿などの、葉の柔らかい落葉広葉樹に発生して、葉がなくなるまで食い尽くし、他の木へ移っていきます。

被害の拡大を防ぐためには早期の発見と駆除が必要となります。各自治会やご家庭で自主的に取り組まれ、生活環境の保全にご協力をお願いします。

「防除機械の貸し出し」

町では、アメリカシロ駆除に使用する薬剤噴霧機械を無料で貸し出ししています。

ただし、機械の燃料代、消毒に使用する薬剤に要した費用は借受者の負担となります。※詳しくはお問合せください。

問合せ

町民課町民生活担当へ

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇乳のごとき故郷 藤沢 周平
- ◇火群のごとく あさのあつこ
- ◇桃色東京塔 柴田よしき
- ◇桐島、部活やめるってよ 朝井リョウ
- ◇親鸞 上・下 五木 寛之
- ◇夜行観覧車 湊 かなえ
- ◇学問 山田 詠美
- ◇葉っぱはどうして緑色なの? 科学技術振興機構
- ◇第56回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

●休館日…毎週月曜日、祝日



☆あそびの広場☆

■日程

8月3日「子育て講座・おいしいおやつづくり」、10日、17日、24日、31日

■時間

午前10時～11時30分

■場所

健康管理センター

対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆ながよし広場☆

■日程と場所

▼8月5日、19日

総合センター
▼8月12日、26日
おぐに保育園

■時間

午前10時～11時30分

■対象者

0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども夏ランド☆

■日時

9月11日(土)
午前9時～午後2時30分

■場所

大石ダム

■内容

小動物園と汽車乗り
申込期限 9月9日(木)

問合先

子育て支援センターへ

求人情報

左の表は、7月29日現在の求人内容です。無効になっていない場合もありますのでご了承ください。 ※詳しいことは、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
庄内通信建設(株)	通信工事(臨時:~12/31)	2人	8:00~17:30
(株)ケイプロダクツ	営業 ショッピングサイト管理 (WEBクリエイター)	2人	9:00~18:00
加藤歯科医院	歯科診療の補助 受付・事務	1人	8:45~18:15 8:45~12:45
(有)白い森よこね物産品直売所	販売・接客	2人	9:00~18:00(ほか)
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15~17:00
合資会社山佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30~17:30
仕運堂	接客・販売他	1人	9:00~17:00 10:00~18:00 10:30~18:30
(株)船山工務店	土木施工管理技師(見習い可)	2人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
(有)蔵王ストア	レジ係(販売員)	1人	8:45~18:00
小国食糧(株)	生鮮食品仕入・店頭販売	1人	8:30~18:30
斉藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
(株)横川建設	土木施工管理技士(見習い可) 重車輜オペレーター	4人	8:00~17:00
KATEKYO学院 長井校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00~21:00 18:00~22:00 19:00~21:00
(株)コメリ新潟地区本部	販売員(リージョナル社員)	1人	9:00~18:00(ほか)
安部工業(株)	型枠大工、一般作業員	2人	8:00~17:00
社会福祉法人小国福祉会	介護員	1人	8:30~12:30(ほか)

今月の納税 2010.8

8月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 8月26日(木) 水道料
- 8月31日(火) 町県民税(2期)、国保税(2期)、後期高齢者保険料(2期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先 税務課税政管理室へ

■ 保健カレンダー

■問合先 健康福祉課

月 日	内 容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場 所
9月8日(水)	ポリオ予防接種	13:00～13:30	H22年1月～4月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
9月17日(金)	1歳6カ月児健診	12:30～13:00	H21年1月～3月	
9月24日(金)	1歳児健診	13:00～13:10	H21年9月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年5月	

あなたの歯は大丈夫？

～歯周疾患検診をはじめます～

町では、みなさんが健康な歯で豊かな人生を送られるように、「歯周疾患検診」を行います。

1. 対象となるかた

小国町に住んでいるかたで、平成22年度中に40歳、50歳、60歳、70歳になるかた(現在、治療中のかた、定期健診を受けているかたは歯周疾患検診を受診できません)

2. 受診期間

8月～12月まで

3. 受診方法

- ①健康福祉課にお電話で申込みください。
- ②申し込み後に受診券を郵送しますので、それを持参のうえ、検診を受けてください。なお、受診できる医療機関は、受診券に記載しています。
- ③受診の際は、自己負担金1,300円をお支払いください。

■問合先 健康福祉課へ

相談

年金相談

- 日時 8月18日(水) 10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢事務所職員
- 問合先 町民課住民窓口担当へ

人権相談

- 日時 8月18日(水) 10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合先 町民課町民生活担当へ

消費者相談

- 日時 8月28日(土) 10:00～15:00
- 場所 役場町民相談室
- 内容 多重債務に関する相談など
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 相談料 無料(一人30分～1時間)
- 申込み 事前に申込が必要です。
- 申込・問合先 町民課町民生活担当へ

弁護士無料法律相談

- 日時 9月3日(金) 10:00～15:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- その他 希望するかたは、8月30日(月)まで申し込んでください。
- 申込・問合先 町民課町民生活担当へ

火の取り扱いに注意しましょう！

西置賜各地で全焼火災が相次いで発生しており、すでに3名のかたが犠牲となっています。

☆火災予防を図るため、常日頃から火災に対する「意識と知識と心掛け」を大切にして、正しい火の取り扱いをしましょう。

☆家族の命と財産を守るため「住宅用火災警報器」を早めに設置しましょう。

■問合先 消防小国分署(☎62-2154)または西置賜行政組合消防本部予防課(☎88-1797)へ

温水プール 臨時休業の お知らせ

温水プールの設備改修工事に伴い、
8月17日(火)～10月4日(月)の期間、温水プールが臨時休業となります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

■問合先 小国町温水プール(☎62-4248)または産業振興課商工観光室へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●会計室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●建設管理室・上下水道室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

地震対策の 訪問アドバイスを行います

置賜総合支庁建築課の職員と町地域整備課の職員が、高齢者世帯のみの住宅を訪問し、大規模地震から人命を守るための住まい方や部分補強など、地震対策のアドバイスを行います。

古い家だから、経済的余裕がないから…とあきらめないで、一度アドバイスを受けてみませんか？

■対象

昭和56年以前に建築された住宅で、65歳以上のかたのみの世帯

■その他

訪問アドバイスに係る費用は無料です。

■申込・問合せ

地域整備課建設管理室または置賜総合支庁建設部建築課(☎0238-26-6090)へ

国民健康保険被保険者証更新のお知らせ

現在、国民健康保険加入者に交付しております「国民健康保険被保険者証」の有効期限は平成22年8月31日までとなっております。

新しい被保険者証は8月下旬に世帯主あてに郵送します。古い保険証については、町民課に回収箱を設置しますので、9月1日以降にご返却ください。

◎昨年との変更点

昨年は「簡易書留郵便」でお送りしましたが、今年は「普通郵便」でお送りします。

◎学生用の被保険者証について

学生用の被保険者証については更新の手続きが必要です。在学証明書または学生証(写し可)を添付の上、申請書を町民課まで提出してください。なお、準備の都合上、8月19日(木)まで申請していただくと、ご家族の分と一緒に郵送できます。

■問合せ 町民課国保医療担当へ

夏型の交通事故に注意しましょう

注意点は？

○体調を整えてゆとりを持って運転をしましょう。

これからの季節は、夏バテや体調不良による事故が増加します。特に旅行などの長距離を運転する場合は、睡眠をしっかり取って、無理のないゆとりを持った運転計画を立てましょう。

○前を良く見てハンドルを握りましょう。

特に昼食後のぼんやり運転による、前の車への追突事故が多発しています。運転中は運転に集中して、周囲の状況に気を配りましょう。

○自転車に乗るときも注意して運転しましょう。

自転車も車の仲間です。交差点では一時停止をして左右の安全を確認するとともに、無理な横断や脇見運転をやめましょう。

■問合せ 小国警察署(☎62-0110)へ

小国町斎場の夜間予約受付の変更について

9月1日から斎場の夜間予約受付の時間と電話番号が変わります。

■夜間予約受付時間

午後5時～午後9時まで
(午後9時以降は翌日に役場へご連絡ください)

■夜間予約受付電話番号

☎023-645-3077
(小国町斎場夜間予約専用電話)

■予約での連絡事項

- 斎場を使用するかた ●亡くなられたかた
- 斎場使用希望日時

■ご注意

- 予約した翌日に役場で斎場使用の手続きを行ってください。
- 夜間予約受付の時間では、翌日の使用分の予約はできませんので、ご注意ください。

(例) 8月28日の午後5時～午後9時までの間に予約した場合は、8月30日以降の予約となります。8月29日分の予約はできません。

■問合せ 町民課住民窓口担当へ

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

小国町	四釜	陽向	(貢美)
大石沢川崎		柳	(翔紀)
岩井沢船山	瑠莉		(善典)
岩井沢今	葵生		(千智)
岩井沢平田	夏帆		(武友)
玉川伊藤	大翔		(敬未)
大宮遠藤	壽莉		(寛壽)

結婚おめでとございます。

(小国小坂町)	奥山	仁一
(韓国)	李善	姫

おくやみ申し上げます。

増岡	鈴木	カネ	(84)
伊佐	新野	昭平	(67)
小国町	塚原	タマノ	(90)
今市	伊藤	安美	(69)
越中里	舟山	梅太郎	(96)
小国小坂町	三身	和人	(40)
緑町	伊藤	ハル	(91)
小増岡	高橋	忠	(85)
岩井	今功	夫	(85)
舟井	伊藤	やま	(103)
片貝	今源	藏	(92)
叶水	木村	信利	(74)
尻無	本間	兵次	(88)
舟渡	齋藤	康哉	(91)
小国町	塚原	や孝	(99)
	藤孝	行	(60)

人口のうごき

人口	男	… 4,435人(-6)
	女	… 4,699人(-4)
	計	… 9,134人(-10)
世帯数		3,251世帯(-2)

平成22年6月30日現在

伝えよう！ 広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ①



材料 (5~6人分)

もち粉	250g	くるみ	適量
砂糖	300g	水	210cc
しょうゆ	70cc	笹の葉	適宜

作り方

- ①しょうゆ、砂糖、水を鍋に入れ、火にかけふつと煮たら火を止める。
- ②少し冷めたら、くるみを入れる。
- ③煮汁が人肌になったら、もち粉を少しずつ入れ、ヘラでかき混ぜる。
- ④蒸し器が熱くなったら入れ、20分間蒸す。
- ⑤蒸し器から出して冷まし、笹に包む。



伝承者：渡部八江さん(叶水)

笹の葉が大きくなる今の季節、「おやつ」として、息子たちに食べさせていました。もち粉もくるみも笹の葉も地元でとれた材料を使っています。今は色んなお菓子が簡単に手に入りますが、添加物が入っていない「おやつ」を作ることができるのも自然豊かな環境があってこそではないでしょうか。この夏は孫と一緒に作ってみたいと思います。

編集後記

毎月、取材させていただくなかで、色んな「食」に出会います。特に今月は、玉川地区のお母さん方の郷土料理や、叶水の渡部さんが作る昔懐かしい「おやつ」に出会いました。ちょっと外に出かけると、食に通じる色んな素材が身近にある、そんな食文化の豊かさを毎月のように感じる事ができます。これも取材にに応じてくれた皆さんのおかげだと感謝しています。ありがとうございます。(加藤)